

学校教育目標	自他を敬愛し、より高い目標に努力する品格のある生徒を育成する。			校訓・文武一貫教育	総合評価	
学校経営方針	生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、将来にわたる自己実現を援助する教育に努める。			◇創造 新しくものを創り出すこと ◇敬愛 尊敬し、親しみの心をもつこと ◇堅忍 つらいことによく耐え忍ぶこと 〈文武一貫教育〉を目指し、推進することを通じて、校訓の具現化を図る。	A	
スロガン	Success For All 〈「成功」に向かって、真摯に努力を続ける生徒を全面的に指導・援助する教育を進める〉					
目指す学校像	新たな歴史を創造し、自校の教育と生徒を誇れる学校					
目指す生徒像	自他との競い合う場面に打ち勝ち、最後まで諦めない心の強い生徒					
目指す教師像	生徒を深く理解し心に寄り添いながら、生徒を高め育てる教師					
前年度の成果と課題	本年度の重点目標		具体的目標			
[成果] ・基本的生活習慣及び規律ある学校生活の確立 ・自己の目標達成のための進路選択能力を伸長 [課題] ・家庭学習の充実等主体的な学習活動 ・より高い次元での進路開発意識の向上 ・教育活動を通じた社会性・国際性の育成	主体的な学習習慣の確立		生徒が主体的に取り組む授業の改善や家庭での学習時間の確保			
	より高い次元での進路開発		進路情報の提供や個別サポートによる生徒の可能性を最大限に引き出す進路選択			
	社会性・国際性の育成		地域協働による「地域と共にある学校づくり」の一層の推進			
教育活動	評価項目	具体的方策・評価指標等	評価 総括	成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等	学校関係者評価他
学習指導	主体的な学習習慣の確立	・家庭学習点検週間を年間3回実施し、昨年度や前学期のデータを提示することで、自身の学習習慣を振り返らせ、学習時間0時間の生徒をなくし、学習習慣を確立させる。 成果指標90%	B	年3回の家庭学習点検週間を実施。前年度分や前学期分の状況を示し、学習習慣の振り返りをさせることができた。	年間を通して学習時間0の取組を進めるとともに、個人データを示して生徒の奮起を促していく。	家庭学習点検の取組については一定の成果を挙げてきたと思われる。継続して学習時間0の取組を進めるとよい。
生徒指導	規範意識・公共心の向上	・規律と責任を自覚し、公共心の向上を図るため、毎月の一斉登校指導を実施するとともに、地域協働の取組を年間3回以上を確保する。 成果指標80%	A	毎月の一斉登校指導を実施。各学年の視点から、適切な行動がとれていた。地域のあいさつ運動にも参加できた。	時差登校を守れない生徒への、個別サポートを協議し解決策を見出ししていく。	特定の学年に遅刻者が多いようだが、1年次からの指導の積み上げが必要。平城高校生の好印象は変わらない。引き続き維持してほしい。
進路指導	より高い次元での進路開発	・進路講演会や進路HR等、進路意識を高める取組を年間3回以上実施し、3年間を視野に据えた進路指導を進め、国公立大学100名以上及び主要私立大学合格率50%以上を目指す。 成果指標80%	A	保護者対象の進路講演会を6回、生徒対象の講演会を4回行い進路意識を高める取組を行った。	センター試験対策など、1年次からの指導を計画的に行い充実させる。	生徒の多様な進路希望を実現していくのは大変だと思うが、一人一人の可能性を伸ばす指導の継続を望む。
特別活動	部活動・生徒会活動の活性化	・部活動参加生徒90%、生徒会活動支持率80%を目指す。心身の発達に努めるとともに、県内ベスト4以上が10部以上を目指す。 学校生活満足度90%	B	IH3位をはじめ10部以上が県best4以上の結果を残した。反面部活動参加率は80%台となっている。	Webページ等を通して部活動の意義や魅力を発信していく。	校門前の掲示板等により、各部活動の活躍はよくわかる。更に実績を伸ばしていけるよう頑張ってもらいたい。
人権教育	参加型LHRの充実	・人権教育年間計画における普遍的課題及び個別の課題に関わる内容を整理し、生徒の参加型活動を年間3回以上取り入れ、人権意識の向上を図る。また、職員研修を計画的に実施する。 成果指標70%	B	生徒の参加型活動を年間3回取り入れ、人権意識の向上を図った。また「性的マイノリティ」の職員研修を行った。	人権教育年間計画における普遍的課題及び個別の課題に関わる内容を検討する。	活動内容を工夫したり、新たな課題に切り込んだりしながら、人権意識を高めていく取組を更に進めてほしい。
教育相談	SCを活用した教育相談	・SCのカウンセリング(年間17回予定)と連携しながら、教育相談の充実を図る。学校のなかでいつでも相談できる場所をつくとともに、いじめの未然防止に努める。 成果指標90%	B	SCのカウンセリングを年間19回実施、連携しながら教育相談を行い、相談できる場所を確保。また職員研修を実施。	支援が必要な生徒のケース会議を定期的に行う。	不登校傾向生徒は様々な悩みを抱えている。SCの継続配置など、きめ細やかな相談体制を継続してもらいたい。
環境美化	校内外の環境美化活動の推進	・校内清掃活動に積極的に参画する生徒を育成するとともに、年間1回以上保護者、地域と協働した校外美化活動を実施する。 成果指標80%	A	日頃の清掃活動のほか、美化委員、クラブ員を核として、「グリーンアクション平城」の活動等を実施した。	関係者との日程調整を行い、活動を継続していく。	「グリーンアクション平城」の取組は画期的であった。今後も地域と協働する活動を続けてほしい。
情報発信	学校理解の促進と説明責任	・地域に愛され、地域に貢献する学校を目指して、学校HP等を積極的に活用し教育活動の周知に努め、地域に対しても情報発信を行い、学校改善に生かす。 成果指標80%	B	学校行事をはじめ、日常の取組をその都度情報発信に努めた。保護者や地域の方々との取組も発信できた。	部活動や学年、分掌の取組の情報発信の更新回数をアップさせる。	志願者の多い学校であるだけに、期待に応えるより一層の広報活動の充実を期待する。
地域協働	地域貢献と体験の場の創出	・地域協働による「地域と共にある学校づくり」の取組を年間10回以上実施することを通じて、生徒がつながりの大切さに気付き、自己有用感を高める契機とする。 成果指標80%	A	地域協働の取組を年間20回実施し、当初の目的は達成できた。	今年度の成果を踏まえ、さらに発展した取組を実施する。	幼保小中高と地域が一体となって取り組む活動(たとえば防災運動)はできないだろうか。一層の連携強化を望む。
健康体育	心身共に健康な学校生活を送る生徒を育てる	・管理下の負傷による保健室来室者数を減少させるとともに、疾病やけがの予防法を周知し、健康管理ができる資質を伸長させる。また、体力向上を目指し、スポーツテスト総合得点を向上させる。 成果指標80%	A	保健室来室者は17.4%減少、特に体育大会などの行事負傷者が減った。スポーツテスト総合得点は概ね向上した。	保健だよりの充実を図り健康管理・体力の向上意識を上げさせる。	健康管理に留意し、部活動についても、文武一貫教育を一層推進する中で、活発に進めてもらいたい。
読書教育	読書活動・図書館活動の充実	・朝の読書タイム、ビブリオバトル、「よむぞう」などの活動を通じて、読書への関心を高めるとともに、学習や活動の内容と関連する蔵書の充実を図り、その紹介に努める。 成果指標80%	A	計画以上に進み、読書への関心を高めることができた。蔵書の充実・紹介により、図書館利用者数も保持できた。	計画を着実に実施しつつ、状況に応じて前進させていくことが肝要である。	スマホの影響で活字離れが進んでいる現在、新たな取組により読書への関心を高めてもらいたい。